

1948年・木下恵介監督、1962年・市川崑監督と名だたる巨匠が映画化してきた、島崎藤村・不朽の名作「破戒」を旬なキャストで映画化。主演を務めるのは、近年、映画やドラマで多彩な活躍が目覚ましい若手俳優・間宮祥太朗。自らの出自に苦悩しつつも、最後にはある告白をする難役に挑戦し、気迫のこもった演技で観る者を惹きつける。相手役・志保を演じるのは若手女優の中でも演技への評価が特に高い石井杏奈。悩める丑松を支える親友・銀之助役に、出演作のオファーが相次ぐ矢本悠馬。ほか眞島秀和、高橋和也、竹中直人など名優たちが顔をそろえ、クオリティの高いドラマを作り上げている。

脚本は『クライマーズ・ハイ』『孤高のメス』などで数々の受賞歴を誇る巨匠・加藤正人と『バトル・ロワイアル』『鎮魂歌』の木田紀生が担当。監督は、椎名桔平主演の映画『発熱天使』を監督した前田和男。



©全国水平社創立100周年記念映画製作委員会



◎物語◎

瀬川丑松（間宮祥太朗）は、自分が被差別部落出身ということを知り、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。友人の同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎（眞島秀和）に傾倒していく。丑松は、「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を感じるが、猪子は政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。

▼チケット発売日 令和4年 11月16日（水）

令和5年 1月15日 日

①10:00上映（9:00開場）

②14:00上映（13:00開場）

上映時間 119分

常陸太田市パルティホール

〒313-0061 茨城県常陸太田市中城町3210

●電車 JR水郡線「常陸太田」駅より徒歩25分、タクシー10分

●車 常磐自動車道・・・那珂IC/日立南太田ICより約20分（駐車場：270台）

全席自由 前売券/ ¥900（税込） 当日券/ ¥1,000（税込）

プレイガイド

- 常陸太田市パルティホール 0294-73-1234
- 交流センターふじ 0294-76-2221
- 水府総合センター 0294-85-0142
- 里美文化センター 0294-82-2204
- 東海文化センター 029-282-8511
- 常陸大宮市ロゼホール 0295-53-7200
- 日立シビックセンター 0294-24-7720

※車椅子でお楽しみいただける席をご用意しております。ご希望のお客様はパルティホール窓口までご連絡ください。
※感染症対策については、パルティホールホームページにて最新情報をご確認ください。

